



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 リンテック株式会社 上場取引所 東
コード番号 7966 URL <https://www.lintec.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）服部 真
問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員管理本部長（氏名）柴野 洋一（TEL）03-5248-7713
半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 2025年11月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	154,752	△2.4	12,767	△6.7	12,487	△12.5	8,928	△17.4
2025年3月期中間期	158,476	20.3	13,687	329.1	14,266	231.8	10,814	449.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,265百万円（△89.5％） 2025年3月期中間期 21,654百万円（110.6％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	135.48	135.43
2025年3月期中間期	158.07	158.00

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	327,073	239,916	73.1
2025年3月期	340,471	246,126	72.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 239,142百万円 2025年3月期 245,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—	55.00			
2026年3月期（予想）			—	55.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	317,000	0.3	24,000	△2.3	24,000	△8.0	18,000	24.3	267.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	72,488,740株	2025年3月期	72,488,740株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	7,007,049株	2025年3月期	5,143,049株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	65,900,089株	2025年3月期中間期	68,417,958株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ (<https://www.lintec.co.jp>) に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループの当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は半導体・電子部品関連製品が引き続き堅調に推移したものの、韓国・台湾子会社の閉鎖や為替などの影響もあり前年同期を下回りました。利益面は原燃料価格の上昇や人件費を含む固定費の増加に加え、為替影響などにより前年同期に比べて減少しました。

以上の結果、売上高は154,752百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は12,767百万円（同6.7%減）、経常利益は12,487百万円（同12.5%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は8,928百万円（同17.4%減）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

（印刷材・産業工材関連）

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	92,434	89,865	△2,569	△2.8
印刷情報材事業部門	73,541	71,324	△2,217	△3.0
産業工材事業部門	18,893	18,541	△352	△1.9
営業利益	3,558	1,673	△1,884	△53.0

当セグメントの売上高は国内では堅調であったものの、米国子会社において売上構成および為替などの影響を受けたこともあり89,865百万円（前年同期比2.8%減）となりました。営業利益については米国での売上高減少や国内および米国で固定費が増加した影響などにより1,673百万円（同53.0%減）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

<印刷情報材事業部門>

シール・ラベル用粘着製品は、国内では医薬および物流用は前年同期並みに推移しましたが、食品関連やアイキャッチ用並びに飲料キャンペーン用などは低調に推移しました。海外では米国で販売数量は増加したものの売上構成および為替などの影響により減少しました。また、中国およびアセアン地域においても低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は71,324百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

<産業工材事業部門>

国内では防犯用・日射調整用ウインドーフィルムが増加したほか、自動車用粘着製品も堅調に推移しました。海外では米国で防犯用ウインドーフィルムの需要が低迷したほか、アセアン地域で自動車用粘着製品が減少しました。この結果、当事業部門の売上高は18,541百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

（電子・光学関連）

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	48,146	46,946	△1,200	△2.5
アドバンストマテリアルズ事業部門	41,655	42,675	1,019	2.4
オプティカル材事業部門	6,491	4,271	△2,219	△34.2
営業利益	9,485	10,456	970	10.2

当セグメントの売上高は半導体・電子部品関連製品が好調に推移しましたが、韓国・台湾子会社の閉鎖の影響もあり46,946百万円（前年同期比2.5%減）となりました。営業利益については増産体制強化のために導入した新設備の減価償却費や人件費などの固定費は増加しましたが、半導体・電子部品関連製品の販売数量の増加により10,456百万円（同10.2%増）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

＜アドバンストマテリアلز事業部門＞

半導体関連粘着テープは生成A I 関連の需要増加などにより堅調に推移しましたが、半導体関連装置についてはHBM製造用の受注が一巡したことにより減少となりました。積層セラミックコンデンサ関連テープはデータセンターやスマートフォン向けなどのハイエンド用の需要増加により堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は42,675百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

＜オプティカル材事業部門＞

OLEDディスプレイ用粘着テープは堅調であったものの、韓国・台湾子会社の閉鎖の影響もあり売上高は減少しました。この結果、当事業部門の売上高は4,271百万円（前年同期比34.2%減）となりました。

（洋紙・加工材関連）

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	17,894	17,940	45	0.3
洋紙事業部門	7,584	7,357	△226	△3.0
加工材事業部門	10,310	10,582	271	2.6
営業利益	615	592	△22	△3.7

当セグメントの売上高は洋紙事業については総じて低調に推移したものの、加工材事業において剥離紙や剥離フィルムが堅調であったことにより17,940百万円（前年同期比0.3%増）となりました。営業利益については加工材事業で増販効果があったものの人件費などの固定費増加をカバーするに至らず592百万円（同3.7%減）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

＜洋紙事業部門＞

工業用特殊紙は堅調に推移したものの、主力のカラー封筒用紙や耐油耐水紙は需要減少により低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は7,357百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

＜加工材事業部門＞

合成皮革用工程紙は減少したものの、一般粘着製品用剥離紙、炭素繊維複合材料用工程紙、光学関連製品用剥離フィルムが需要増加により好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は10,582百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は327,073百万円となり、前連結会計年度末に比べて13,398百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「現金及び預金」の減少	△5,617百万円
・「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加	2,388百万円
・「棚卸資産」の減少	△2,706百万円
・「流動資産その他」の減少	△1,305百万円
・「有形固定資産」の減少	△2,347百万円
・「のれん」の減少	△3,031百万円

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は87,156百万円となり、前連結会計年度末に比べて7,188百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「短期借入金」の減少	△1,000百万円
・「未払法人税等」の減少	△1,386百万円
・「流動負債その他」の減少	△3,058百万円
・「長期借入金」の減少	△988百万円

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は239,916百万円となり、前連結会計年度末に比べて6,209百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「利益剰余金」の増加	5,561百万円
・「自己株式」の減少	△5,112百万円
・「為替換算調整勘定」の減少	△6,565百万円

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,511	49,893
受取手形、売掛金及び契約資産	64,701	67,090
棚卸資産	64,054	61,348
その他	8,666	7,360
貸倒引当金	△166	△312
流動資産合計	192,767	185,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	48,373	48,770
機械装置及び運搬具 (純額)	39,961	41,074
土地	13,573	13,359
建設仮勘定	6,645	4,050
その他 (純額)	8,377	7,329
有形固定資産合計	116,931	114,584
無形固定資産		
のれん	11,771	8,739
その他	3,165	2,916
無形固定資産合計	14,936	11,655
投資その他の資産		
その他	15,924	15,561
貸倒引当金	△88	△108
投資その他の資産合計	15,835	15,453
固定資産合計	147,703	141,693
資産合計	340,471	327,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,350	40,700
短期借入金	1,300	300
1年内返済予定の長期借入金	1,837	1,962
未払法人税等	4,998	3,611
賞与引当金	2,716	2,732
役員賞与引当金	76	46
その他	18,710	15,651
流動負債合計	69,989	65,004
固定負債		
長期借入金	3,794	2,806
リース債務	3,414	3,117
環境対策引当金	111	111
退職給付に係る負債	14,672	14,967
その他	2,361	1,150
固定負債合計	24,355	22,152
負債合計	94,345	87,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,355	23,355
資本剰余金	26,627	26,644
利益剰余金	169,969	175,531
自己株式	△11,703	△16,816
株主資本合計	208,250	208,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	591	510
為替換算調整勘定	34,616	28,050
退職給付に係る調整累計額	1,855	1,865
その他の包括利益累計額合計	37,063	30,426
新株予約権	54	42
非支配株主持分	758	732
純資産合計	246,126	239,916
負債純資産合計	340,471	327,073

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	158,476	154,752
売上原価	117,306	114,097
売上総利益	41,169	40,654
販売費及び一般管理費	27,482	27,886
営業利益	13,687	12,767
営業外収益		
受取利息	358	308
受取配当金	271	116
固定資産売却益	71	0
受取保険金	62	1
補助金収入	12	145
その他	141	111
営業外収益合計	918	684
営業外費用		
支払利息	217	171
固定資産除却損	50	122
為替差損	16	574
支払補償費	6	1
その他	48	95
営業外費用合計	338	964
経常利益	14,266	12,487
特別利益		
投資有価証券売却益	224	199
固定資産売却益	59	-
特別利益合計	284	199
税金等調整前中間純利益	14,550	12,686
法人税、住民税及び事業税	4,095	3,897
法人税等調整額	△362	△143
法人税等合計	3,733	3,754
中間純利益	10,817	8,932
非支配株主に帰属する中間純利益	2	4
親会社株主に帰属する中間純利益	10,814	8,928

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	10,817	8,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	△80
為替換算調整勘定	11,016	△6,596
退職給付に係る調整額	△58	9
その他の包括利益合計	10,836	△6,667
中間包括利益	21,654	2,265
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	21,607	2,291
非支配株主に係る中間包括利益	46	△26

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産業 工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	92,434	48,146	17,894	158,476	—	158,476
セグメント間の 内部売上高又は振替高	36	6	7,200	7,243	△7,243	—
計	92,471	48,153	25,095	165,719	△7,243	158,476
セグメント利益	3,558	9,485	615	13,659	27	13,687

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産業 工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	89,865	46,946	17,940	154,752	—	154,752
セグメント間の 内部売上高又は振替高	35	29	7,396	7,461	△7,461	—
計	89,900	46,975	25,336	162,213	△7,461	154,752
セグメント利益	1,673	10,456	592	12,722	45	12,767

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。